

# BALL TEST DATA

【セールス資料】

BALL NAME : IQ TOUR NANO PURPLE

COLOR : PURPLE

COVER STOCK: NANO™ SOLID REACTIVE

RG : 2.49 (MED/15P) / RG : 0.029 (LOW/15P)

FACTORY FINISH : 3000 Grit ABRALON

TRACK FLARE POTENTIAL : 4-6 (MID)

BACK END : 16 LENGTH : 15 (1-20)

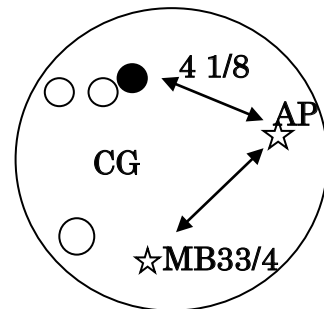
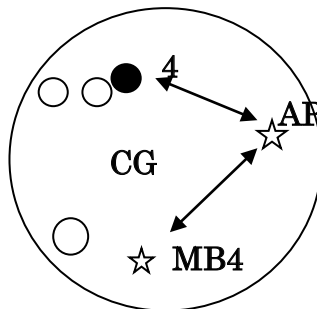


2021年4月20日

レイアウト例

IQ NANO PEARL

IQ NANO PURPLE



O	LONG			
I	MEDIUM			
L	SHORT			
		Light	Medium	Heavy

適正レーンコンディショングラフ

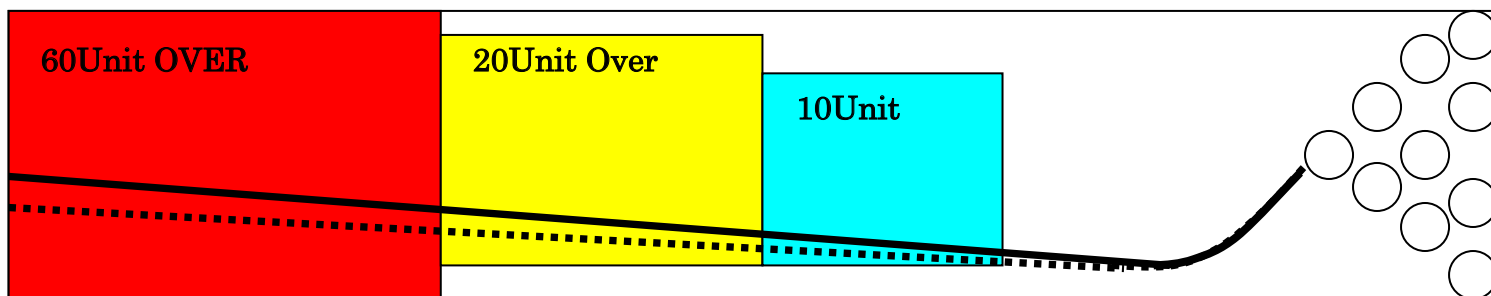
【MEDIUM OIL 編】

CA52.5度/PSA2

フラー幅 最大 6 3/4 ・ 間隔 1/8

CA55度/PSA2

最大 6 7/8 ・ 間隔 1/4



0F 比較品ライン      15F IQ NANO PURPLE      35F IQ NANO PEARL      40F

【製品比較表】

曲がり度	1	2	3	4	5	曲がり方	アーク	1	2	3	4	5	シャープ
スキッド	1	2	3	4	5	オイルの強さ	1	2	3	4	5		
ピンアクション	1	2	3	4	5	テスト品	○						比較品 △

\*上記の数字は、1側が少ない(短い・弱い) 5側が強い(大きい・長い)

【ボール総合評価】

IQシリーズの超ロングラン販売に至る要因として、ボウラー目線での扱うコンディショニングの明確さが際立ち色々なカバーストックにより扱う場面が変わるだけで基本的な動きは変わらないのが扱う側としての位置づけを示す事が出来るのです、今回の NANO 素材は全体的にスムーズな動きです。

【ここがポイント】

限りなくリバイバル販売にも思える今回の NANO PURPLE ですが、表面素材の一部配合を変える事と #500→1000→2000→3000 の加工工程を行い摩擦係数を調整する事でレーン手前から中盤のスムーズな直進性が得られ軸移動は細かなフレア間隔で立上りが早めですがアーク状な曲がりが出るのでコントロール性能も高く、投げ易さを感じました。ピンアクションもパワーロスの無い印象で薄目・厚めでも飛ぶポケット幅の広さは抜群でした、NANO と言えば“噛む”と言うイメージを払拭する全体的なスムーズな動きは MAXX の印象にも限りなく近い物を感じました。

発売予定：2021年9月中旬 希望小売価格 ¥49,000 円 (税別)

石原 章夫プロ 【(株)ハイ・スポーツ専属プロボウラー】 テスト協力センター：アイビーボウル向島

